



## 本物って？

たった一度触れるだけでいままではあるとわたしたちは思っています。「ヒト・モノ・コト」それぞれに本物があります。理解するというよりは腑に落ちるといったように、向き合った時に一瞬でぐっと感じた経験はないでしょうか。錢屋本舗本館では、そんな「言葉に表せない感動」に触れる機会を提供します。

今回ご紹介する本物は、能楽師大倉源次郎（人間国宝）さん。能を舞台芸術の一つとして多くの人に伝えたいと、日本を問わず海外公演も

積極的に開催されています。「生活文化として、日本中が能楽を楽しんでほしい」と舞台の出演だけでなく、初心者向けのワークショップやイベントにも取り組まれます。大倉源次郎さんが表現する「能」の世界にこれまで触れたことはありませんでしょうか。

## はじめの一步

現存する最古の演劇「能」。これまでの長い歴史の中では大きな時代の転換期も乗り越えてきた理由、それは日本人の心の原点を表しているから、そんな気がします。

能って難しそうと距離を空けてしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、雛人形の「五人囃子」の名称に聞き覚えがある方は多いのではないのでしょうか。お内裏様とお雛様をお祝いするお囃子を奏でているのが五人囃子です。向かって右より

謡・笛・小鼓・大皮（大鼓）・太鼓。お揃いの衣装を着ていますが、少しずつ着こなしに個性があることも実際の能の舞台を忠実に表現している所以でしょうか。指揮者がいなくても互いの呼吸で間合いを感じ取り演奏する五人囃子。実はこの編成が能楽囃子なのです。

映えるようにする、ひきたるという意味をもつ「はやす」から生まれた囃子。舞台の上での囃子・謡・舞、それぞれの役割が重なり合いひとつの作品を作り上げます。

能の文化的な意味や、本質を捉えるのは容易ではありません。それははじめの一步を踏み出して、触れてこなかったことに触れてみる、知れば知るほど見え方が変わってくる、簡単に理解できないことを頭で考えるのではなく、こころで感じる、この段階をあえて経験することもひとつの喜びかもしれません。



ワーク  
ショップ

### 能楽師 大倉源次郎（人間国宝）の「鼓を楽しもう!!」

日本の伝統芸能「能楽」のお囃子を、演奏とわかりやすい解説でお楽しみいただけます。

日時：令和3年3月16日（火） 18:30開演（開場：18:00）

会場：うえほんまち錢屋ホール

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-2 錢屋本舗南館6階

料金：座席 2,500円（自由席・税込）

配信視聴：1,500円（税込）

本公演の収録映像を3/25（木）～3/31（水）まで配信。

配信期間中はいつでも視聴可。

チケット発売予定日：令和3年2月19日（金）

※今後の政府や自治体などの発表を踏まえて、急遽変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

錢屋ギャラリー  
SALON

### この人のB面展 ～能楽師 大倉源次郎（人間国宝）

本業をA面とするのであれば、B面（素顔）の豊かな人は、とても魅力的だと思いますが、あまり知られることもありません…。だからあえてSALON主人の正木裕也が、A面『能楽師』ではなくB面『素顔』の大倉源次郎さんと時間を共有します。



今回はオンライン配信のみとなります。

日時：令和3年2月17日（水）20:00 配信開始



詳しくは  
コチラ



錢屋本舗  
本館